

通学路の再点検を求む



三友美恵子



教育長

危険箇所に出向き 合同点検を実施

質問 通学路や保育所の散歩コースなどの危険箇所を再度洗い出し、改善すべきと思うが。

答弁 教育長 通学路点検は、「玉村町通学路交通安全プログラム」に基づき継続的に実施している。今年度も各小学校から報告を受け、各担当者が危険箇所に出向き合同点検を実施し、緊急度の高い箇所から対策を講じている。

答弁 町長 保育所の散歩コースについては、各担任保育士がコース全体の再点検を実施し再確認を行った。

質問 今年度、板井から玉村小学校に通う児童は161名で、その約8割が板井の信号を15分程度の中に集中して渡る。しかし信号待ちの場所が狭く、左折の車が子供たちすれすれを通り危険なため、改善を求む。

答弁 町長 板井区長から、歩行者用信号機の設置要望書が伊勢崎警察署長宛てに提出



板井交差点

された。交差点については、担当者で現地確認をして、「待機場所の用地が確保できるか」「車両の進入を制限できるか」等、さまざまな視点から安全対策を検証していきたい。

財政再建の今後の展開を示せ

質問 本町の歳入と歳出の特徴と推移は。

答弁 町長 歳入は人口が減少しているが、共働き世帯の増加など納税義務者数の伸びから総所得が増加している。今

後は、文化センター周辺開発、東部工業団地拡張、高崎玉村スマートインテグレーション北地区の新産業団地の開発による税収増を期待している。

歳出は少子高齢化に伴う社会保障費や公共施設の老朽化に伴う維持管理費等の増加により、予算規模は大きくなっていくと考える。

財政力指数は、新産業団地の開発等が実を結べば将来的に税収増により、さらに高い指数になると思う。

質問 将来の町の展望は。

答弁 町長 教育大綱に「夢かなえる教育の町」を掲げた。限られた予算の中ではあるが、「米百俵」の気持ちで、次の世代の子供たちに夢を引き継ぎ、未来を託すような教育に力を尽くしたい。

こんな質問もしています

・町民参加型のまつりについて

ぜひ「町活性化プラン」の実現を



新井賢次



町長

実行すべく検討したい

質問 本町は地域力を発揮する住民主役の町を目指して

おり、その成果を検証する機会が「自治まちづくり広場」である。今年の自治まちづくり広場も内容が充実していたが、住民の関心が低く参加者が少なかったのが残念だ。おでかけポイント制度の対象イベントに加えたらどうか。

答弁 企画課長 前向きに検討したい。

質問 協働によるまちづくり提案事業の現状評価は。



4月21日開催の自治まちづくり広場

答弁 町長 「ガイドたまむらの会」や「たまむら食の探検隊」等、町の観光や魅力アップに効果的な事業が多いため、継続していけるように支援していきたい。

質問 活発に活動している団体に対して多少でも予算づけできないか。

答弁 企画課長 活動費の負担支援については関係各課と調整してみたい。

質問 「玉村町活性化プランコンテスト」入賞案は魅力ある提案が多い。実現に向けて具体的に検討すべきだ。

答弁 町長 今まで活用事例はないが、今年度は提案者と一緒に取り組めるように働きかけている。

質問 提案した女子大生は、「実行できることを前提に考へた。町から積極的に声がかかったら本当にやりたい」と前向きな姿勢だった。ぜひ進めてもらいたい。

長寿会に対する認識を改めるべきではないか

答弁 町長 実行すべく検討したい。

質問 長寿会活動をもっと町民の皆さんに周知することが大切だ。広報たまむら等を通じて、頑張っている元気な長寿会を紹介してほしい。もっと、お年寄りを敬う環境づくりを考えてほしい。

答弁 町長 「元気で生きがいのある高齢者が増加し、地域の中でも長寿会の評価が高まり、新しい会員も増え活動が充実する」そんな好循環が生まれることを期待し、継続して支援していきたい。「町でやるべきことがいくつあるか」との提案があった。前向きに検討したい。

こんな質問もしています

・広報・広聴機能の充実について